

全曹青、
発信せよ。
～平成22年度初頭の点描～

PROGRAM ◎大会プログラム

- 日時：平成22年6月11日(金)
会場：ヤマハリゾート つま恋
日程：
13:00 受付
14:00 記念法要(大般若祈禱会)
15:00 仏教講座
「お経の功德～なぜお経をよむのか」
講師：大本山永平寺 名古屋別院監院
花井寺住職 井上義臣老師
16:30 記念式典
17:00 記念講演「期待される僧侶像」
講師：駒澤大学総長 正林寺住職
田中良昭老師
18:30 懇親会

光明きらめ輝きを求めて

静岡第三同志会 創設四十周年記念大会
併催 平成22年度禅文化学林

静岡第三同志会創設四十周年記念大会・併催平成22年度禅文化学林が、平成22年6月11日(金)に静岡県掛川市の「ヤマハリゾート つま恋」にて開催されました。今回は、一般の参加者(86名)を含む353名の参加がありました。

大会当日は、大会実行委員会委員長尾崎寿光師の開会宣言の後に、記念法要(導師・大会長高橋浩道師)の「大般若祈禱会」が行われました。

その後、休憩をはさんで井上義臣老師を講師にお迎えして、「お経の功德～なぜお経を読むのか」と題して仏教講座が行われました。

続いての記念式典では高橋浩道師より式辞が述べられた後、静岡県第3宗務所長駒形哲宗老師、同志会顧問櫻井孝順老師、全曹青久間会長の祝辞が述べられました。

そして、記念講演では田中良昭老師に「期待される僧侶像」と題してご講演頂きました。



大会を振り返って。

実行委員長 尾崎寿光



今大会では豊川市の井上義臣老師よりはお経を挙げる意味をご講演いただきました。そこには僧侶・衆生たちのいろいろな願いがこもっている、おっしゃっていただきました。我々青年僧侶は壇信徒のみならず地元地域のその願いに答える義務があるということです。

また、駒澤大学総長であられる田中良昭老師も一般の人々から見た僧侶像として、帰依(信頼)される僧侶・坐禅教義を説ける僧侶・儀礼主催者としての僧侶・人々と共に生き現代社会に生きる僧侶等を期待していると述べられてました。まさしくいま我々が心では思い実行しなければいけないが踏み出していないことでした。

我々静岡第三同志会員は20代～80代近くのご老僧と幅広い終身在籍の会です。今大会では若い僧侶に配役をお願いし発言や行動の場を与えました。これをきっかけにもっともっと青年僧侶が活躍できますことを祈念いたしております。